



## 6月、夏の始まり。 WITHコロナの日々。

### ■賑やかな活動が市内各地で再開

晴天が続いた5月。ゴールデンウィーク、週末に行われたスポーツ大会や各地のイベント会場では多くの市民の皆さんと言葉を交わすことができました。



コロナの影響により2年以上の期間、活動自粛を余儀なくされていた皆さんの強い意志を感じます。それぞれの活動の目的を今一度再認識しながら、状況に合わせた感染症対策などきめ細かな対応がされています。

ただ単に、かつてのやり方で再開させるのではなく、時代にあった手段を議論

しながら選択し、進めていくことは非常に重要なことだと考えます。それぞれの活動の意義と目的を、活動する人や関係者と市役所が共有しながら、より良い活動が行われるように努力していきたいと思えます。

特にイベントに関しては、今後は民間主体があるべき姿だと考えています。



行政が主催するようなイベントは極力少なくし、個人や団体、民間の人たちが想いを持って活動することを、市役所がサポートするようなカタチで一つ一つ市民の皆さんと楽しめたらと思っています。



令和2、3年と中止になっている「おん祭MINOKAMO」の花火大会。今年は開催に向けて美濃加茂商工会議所青年部の皆さんが中心となり、〈おん祭美濃加茂実行委員会〉が開催する方向で計画しています。活動の協賛も募集中ですので、ぜひ、多くの方にご協力いただけたらと思います。一つ一つの熱いイベントは、誰かの努力と想いによって創り上げられています。

## ■学生と社会との接点創出

以前から、様々な社会の課題を若い人たちと包み隠さず共有し、一緒になって考えていくべきだと考えていました。3月にはビジネスチャレンジコンテストのイベントに加茂高生徒会の代表生徒さんが参加、5月には加茂農林高校の生徒さんが学校でのプロジェクトの発表、関高生徒さんが〈空き家課題への提案〉をしてくださいました。



教育とは学校だけのものではなく、私たち大人の行動や活動そのものが次の世代へのメッセージになると考えています。市役所や地域、地元企業の皆さんと学生さんが関わり合える機会は、社会に

とっても学生にとっても重要なことです。今後も、学校との関わりを積極的に行っていきたいと思いますのでご支援よろしくをお願いします。

## ■木曽川中流域の活性化

リバーポートパークがオープンして4年が経過し、多方面から高評価をいただいています。



そのような中で、岐阜県が現在〈木曽川中流域〉の活性化に力を入れる方針を示してくれています。知事からは、「清流木曽川の可能性をもっと引き出して欲しい」と力強いメッセージをいただいています。美濃加茂市の歴史を振り返ると〈飛騨川、木曽川の合流点〉、〈中山道太田宿の太田の渡し〉は重要な資源であり、交通の要衝としての特徴は当時から現在まで続き、これからも大切にしていきたい一つの原点だと思います。今年度中に、“太田の渡し”、“ライン下り”、“リバージェット”など新たな試みに挑戦する予定となっています。



## ■とびだせ市長室

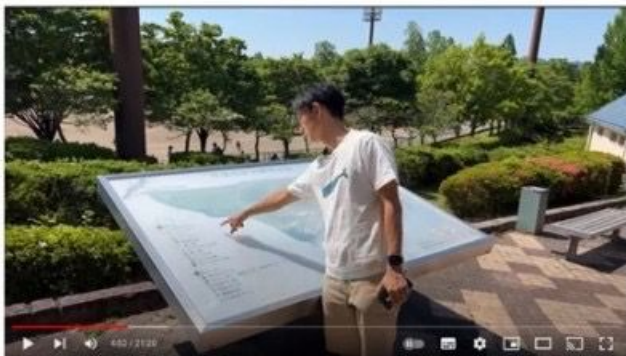
地域での活動や様々な施設、企業を訪問しながら意見交換等を行なっています。その中で、いよいよ”とびだせ市長室”を再開することができました。まずはコロナ対策も考慮し、時代に合わせてオンラインでの開催を行いました。



今後、これまで行なってきた会場での意見交換とオンラインでの開催を交えながら開催していきたいと考えています。テーマは何でも受け付けていますし、少人数での集まりにも伺いたいと考えていますので、お声がけいただけたら幸いです。

## ■YouTubeLive毎週開催

こちらのお知らせだけでは伝えきれない内容を、生中継で毎週お伝えしています。



こちらのお知らせだけでは伝えきれない内容を、生中継で毎週お伝えしています。多くのご質問に直接お答えしたり、ご質問の内容や私が課題を感じる場所に直接出向き、現地からの中継も行なっています。是非、こちらもご覧ください。

突然、夏日のような気候となりました。くれぐれもご自身のお身体、周囲の方々の健康にご留意いただきたいと思います。今月も、世界中の人が憧れる美濃加茂市の実現のために、ご協力いただきたいと思います。引き続きよろしく申し上げます。



藤井浩人